

## 2020年3月期 連結決算ハイライト (IFRS)

### ■減収減益。

◇収益	7,218 億円	0.3% 減収
◇営業活動に係る利益	284 億円	6.6% 減益
◇税引前利益	269 億円	7.7% 減益
◇親会社の所有者に帰属する当期利益	144 億円	13.3% 減益

■21/3期見通しは、20/3期水準を維持。配当金も当期配当金額を据置き。

### 損益の状況

(単位:億円)	2019/3期 通期	2020/3期 通期	前期比		2021/3期 見通し	
			増減額	増減率	見通し	前期比 増減率
収益	7,238	7,218	△ 20	△ 0.3%	7,000	△ 3.0%
売上総利益	1,100	1,109	9	0.8%	-	-
販売費・一般管理費	△ 804	△ 827	△ 23	-	-	-
その他の収益・費用	7	2	△ 6	△ 77.3%	-	-
営業活動に係る利益	303	284	△ 20	△ 6.6%	270	△ 4.8%
利息収支	△ 23	△ 25	△ 2	-	-	-
受取配当金	12	11	△ 0	-	-	-
その他の金融収益・費用	△ 4	△ 5	△ 0	-	-	-
金融収益・費用	△ 15	△ 18	△ 3	-	-	-
持分法による投資損益	4	4	0	-	-	-
税引前利益	292	269	△ 22	△ 7.7%	260	△ 3.5%
法人所得税費用	△ 87	△ 87	0	-	-	-
当期利益	204	182	△ 22	△ 10.8%	-	-
親会社の所有者に帰属する 当期利益	166	144	△ 22	△ 13.3%	145	0.7%
1株当たり利益 (円)	198.22	172.43	△ 25.79	△ 13.0%	173.63	0.7%

【収益】  
食料セグメント、車両・航空セグメントで増収となったものの、電子・デバイスセグメント、鉄鋼・素材・プラントセグメントで減収となり、全体では20億円の減収。

【営業活動に係る利益】  
電子・デバイスセグメントでは増益となったものの、全体では20億円の減益。

【税引前利益】  
営業活動に係る利益の減少により、22億円の減益。

【親会社の所有者に帰属する当期利益】  
税引前利益の減少に伴い、22億円の減益。

### 資産・負債及び純資産の状況

(単位:億円)	2019/3末	2020/3末	前期末比	
			増減	増減率
総資産	5,495	5,517	22	0.4%
グロス有利子負債(注1)	1,395	1,434	39	2.8%
ネット有利子負債	500	518	18	3.7%
自己資本(注2)	1,252	1,308	56	4.5%
内、利益剰余金	607	695	88	14.5%
内、その他の資本の 構成要素合計	112	79	△ 34	△ 29.9%
自己資本比率(注3)	22.8%	23.7%	0.9pt上昇	-
ネットDER(注4)	0.40倍	0.40倍	横這い	-

【総資産】  
有形固定資産の増加等により、22億円の増加。

【有利子負債】  
ネット有利子負債は18億円の増加。

【自己資本】  
利益剰余金の積上げ等により、56億円増加。

自己資本比率は23.7%。  
ネットDERは0.4倍の水準。

(注1)グロス有利子負債は、リース負債を除いた社債及び借入金合計額

(注2)自己資本は、資本の「親会社の所有者に帰属する持分」 (注3)自己資本比率=自己資本/総資産

(注4)ネットDER=ネット有利子負債/自己資本

### キャッシュ・フローの状況

(単位:億円)	2019/3期 通期	2020/3期 通期
営業活動によるCF	247	243
投資活動によるCF	△ 66	△ 102
フリーキャッシュフロー	181	140
財務活動によるCF	△ 72	△ 116
現金・現金同等物の増減	110	25

【営業活動によるCF】  
営業収入の積上げ等により、243億円のキャッシュ・イン。

【投資活動によるCF】  
子会社の取得や有形固定資産の取得、敷金の差入れ等により、102億円のキャッシュ・アウト。

【財務活動によるCF】  
借入金の返済やリース負債の返済、配当金の支払等により、116億円のキャッシュ・アウト。

(注)2020年3月期よりIFRS第16号「リース」が適用となったことに伴い、営業活動によるCFは適用前より57億円の増加、財務活動によるCFは同じく57億円の減少となっております。

### 配当の状況

【2020/3期】	
中間配当	1株当たり 30 円
期末配当(予定)	1株当たり 30 円
年間配当(予定)	1株当たり 60 円
【2021/3期】	
中間配当(予想)	1株当たり 30 円
期末配当(予想)	1株当たり 30 円
年間配当(予想)	1株当たり 60 円

	2019/3期	2020/3期	2021/3期
連結配当性向	30.3%	34.8%	34.6%

### セグメント情報

(単位:億円)	収益			営業活動に係る利益		
	2019/3期 通期	2020/3期 通期	前期比 増減	2019/3期 通期	2020/3期 通期	前期比 増減
電子・デバイス	2,655	2,545	△ 110	185	190	4
食料	2,449	2,514	65	40	24	△ 16
鉄鋼・素材・プラント	1,394	1,299	△ 96	44	38	△ 6
車両・航空	621	746	125	25	24	△ 2
報告セグメント合計	7,119	7,104	△ 15	295	275	△ 19
その他(含む調整額)	120	114	△ 5	9	8	△ 1
総合計	7,238	7,218	△ 20	303	284	△ 20

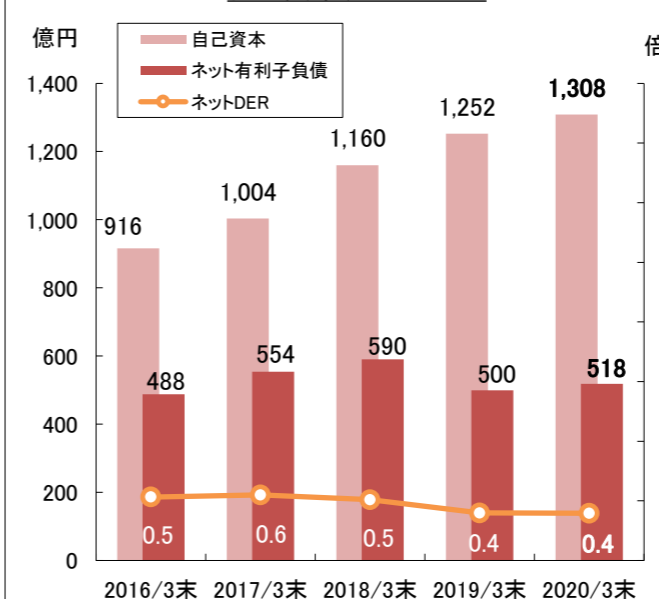
【電子・デバイス】 減収増益  
ICTソリューション事業は、サーバー、ストレージに加え、仮想化とセキュリティ分野におけるIT投資需要もあり、好調に推移。モバイル事業は、店舗運営の効率化や法人向けビジネスの増加等により順調に推移。半導体・液晶製造装置事業は、中国での新型コロナウイルス拡大による影響を受けた。

【食料】 増収減益  
食品事業は、消費者ニーズにマッチした原料調達および商品開発により農産加工品取引が堅調に推移。畜産事業は、世界的に需給バランスが不安定となり相場変動があったものの堅調に推移。一方、食糧事業は、ペット関連取引や水産飼料取引等の不調により苦戦。

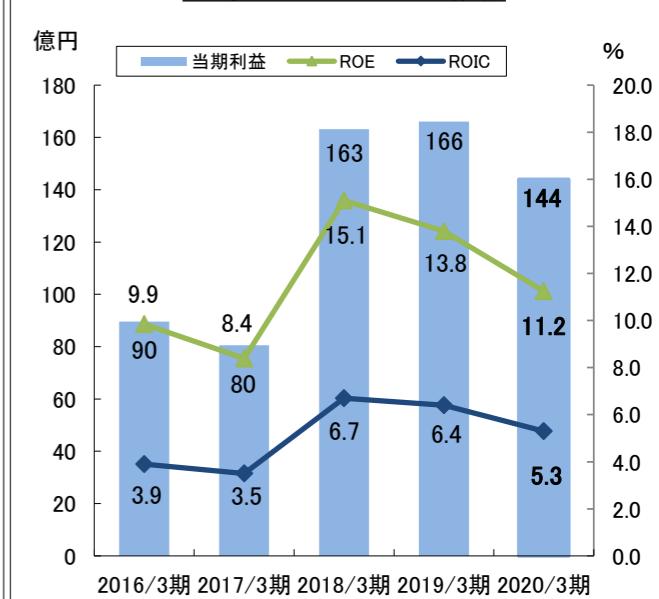
【鉄鋼・素材・プラント】 減収減益  
エネルギー事業は、国内取引を中心に順調に推移。油井管事業は、原油価格低迷の影響を受けスローダウン。工作機械・産業機械事業についても、主に中国、米国を中心とした海外取引が低迷し、プラントインフラ事業も中東向け取引の停止により減益。

【車両・航空】 増収減益  
航空宇宙事業は、主力である航空機部品取引が堅調に推移。車両・車載部品事業は、全般には堅調ながらも中東向け取引の停止により減益。

### 自己資本、ネットDER



### 当期利益、ROE、ROIC推移



\* 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
\* 記載の数値は億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値が異なる場合があります。